

2025年度

地域基礎科目の履修について

新カリキュラム・2019年度以降入学学生用

地域基礎科目は、必修単位数が6単位であり、3コマの履修が必要であることは全員共通ですが、所属する「地域」と専攻する「専攻言語」により、履修方法が異なります。指定された履修方法によって修得した地域基礎科目6単位が進級要件です。下記12の「地域」の中から該当する「地域」の説明文を読み、地域基礎科目を履修登録してください。なお、履修指導文にある指定授業のうち、時間割によっては2025年度に履修登録できない場合もあります。その場合は、2026年度に履修するようにしてください。

1. 北西ヨーロッパ／北アメリカ

言語文化学部の学生：

「北西ヨーロッパ」で開講される3コマ・6単位（注）、および「北アメリカ」で開講される4コマ・8単位のうち、任意の3コマ・6単位を選択して履修する。

国際社会学部の学生：

- ・「北西ヨーロッパ」を専攻地域とする学生は、「北西ヨーロッパ」で開講される3コマ・6単位（注）のうち、2コマ・4単位を選択して履修する。残り1コマ・2単位は、「北西ヨーロッパ」、「北アメリカ」、「オセアニア」から選択して履修する。
- ・「北アメリカ」を専攻地域とする学生は、「北アメリカ」で開講される4コマ・8単位のうち、2コマ・4単位を選択して履修する。残り1コマ・2単位は、「北西ヨーロッパ」、「北アメリカ」、「オセアニア」、「ラテンアメリカ」の授業の中から選択して履修する。

（注）2024年度以降は、「北西ヨーロッパ」で開講される地域基礎は、「北西ヨーロッパ地域基礎1」と「北西ヨーロッパ地域基礎2」の2コマ・4単位になります。「北西ヨーロッパ地域基礎3」の開講予定はありません。2023年度以前に取得した「北西ヨーロッパ地域基礎3」の単位は引き続き有効です。

2. 中央ヨーロッパ

- ・専攻言語（ドイツ語）の学生は、「中央ヨーロッパ」で開講され、ドイツ語教員が担当する5コマ・10単位のうち、2コマ・4単位を選択履修する。残り1コマ・2単位については、「中央ヨーロッパ」で開講され、ドイツ語教員、ポーランド語教員、チェコ語教員が担当する地域基礎科目から選択履修する。なお、秋学期開講の中央ヨーロッパ地域基礎7（ドイツ語）は、少人数でのゼミ形式の授業（2年生対象）である。

・専攻言語（ポーランド語）の学生は、「中央ヨーロッパ」で開講され、ポーランド語教員が担当する地域基礎科目（1コマ・2単位）を履修する。残り2コマ・4単位については、「中央ヨーロッパ」で開講され、ドイツ語教員、チェコ語教員が担当する地域基礎科目、または「ロシア」で開講される受講指定PLの付されたものから選択履修する。

・専攻言語（チェコ語）の学生は、「中央ヨーロッパ」で開講され、チェコ語教員が担当する地域基礎科目（1コマ・2単位、春学期）を履修する。残りの2コマ・4単位については、「中央ヨーロッパ」で開講され、ドイツ語教員、ポーランド語教員が担当する地域基礎科目、または「ロシア」で開講される受講指定Czの付されたものから選択履修する。

3. 西南ヨーロッパ

・専攻言語（フランス語）の学生は、「西南ヨーロッパ」で受講指定FおよびF, Iの付された6コマ・12単位のうちから3コマ・6単位を選択して履修する。

・専攻言語（イタリア語）の学生は、「西南ヨーロッパ」で受講指定Iの付された4コマ・8単位のうち、Iのみの付された2コマ・4単位、および、F, Iの付された2コマから1コマ・2単位を選択して、履修する。

4. ロシア

・「ロシア」で開講される3コマ・6単位をすべて履修する。

5. イベリア・ラテンアメリカ

言語文化学部学生：

・専攻言語（スペイン語）または専攻言語（ポルトガル語）の学生は、「イベリア」で受講指定S・Poの付された1コマ・2単位と、「ラテンアメリカ」で受講指定S・Poの付された1コマ・2単位を履修し、残り1コマ・2単位は、「イベリア」または「ラテンアメリカ」で受講指定S・Poの付された授業から選択して履修する。

国際社会学部学生：

・「ラテンアメリカ」を専攻地域とする学生は、「ラテンアメリカ」で開講される4コマ・8単位のうち2コマ・4単位を選択して履修する。残り1コマ・2単位は、「イベリア」、「ラテンアメリカ」で受講指定S、Poの付された授業の中から選択して履修する。

・「イベリア」を専攻地域とする学生は、「イベリア」で開講される3コマ・6単位のうち2コマ・4単位を選択して履修する。残り1コマ・2単位は、「イベリア」、「ラテンアメリカ」で受講指定S、Poの付された授業の中から選択して履修する。

6. 東アジア

・「東アジア地域基礎1～6」から3コマ・6単位を選択履修すること。

*専攻言語（朝鮮語）の学生は、必ず「東アジア地域基礎4」（藤井豪先生の授業／1コマ・2単位）を選択履修するコマに含めること。

・選択に際しては、各自の専攻言語に対応する地域の授業を推奨する。

中国地域：「東アジア地域基礎1」、「東アジア地域基礎2」、「東アジア地域基礎6」

朝鮮地域：「東アジア地域基礎3」、「東アジア地域基礎4」*、「東アジア地域基礎5」、「東アジア地域基礎6（鄭栄桓先生）」

7. 東南アジア

・専攻言語（インドネシア語・マレーシア語・フィリピン語・タイ語・ラオス語・ベトナム語・カンボジア語・ビルマ語）の1年生は、必ず、春学期・水曜日1時限目に開講される「東南アジア地域基礎1」（東南アジア研究入門：2単位）を履修すること。さらに、専攻言語に対応して開講されている「東南アジア地域基礎2～17」を春学期1コマ・2単位および秋学期1コマ・2単位、合計2コマ・4単位を履修すること。専攻言語（インドネシア語・マレーシア語・フィリピン語・タイ語・ラオス語・ベトナム語・カンボジア語・ビルマ語）の1年生は、上記の東南アジア地域基礎科目6単位を1年次に履修することが推奨される。

8. 南アジア

・進級要件6単位のうち、専攻言語としてウルドゥー語(U)、ヒンディー語(H)、ならびにベンガル語(Bn)を専攻する学生は、全員各自が所属する専攻言語が開講する「南アジア地域基礎1」および「南アジア地域基礎2」の2科目4単位が必修科目となる。これらを1年生春学期・秋学期にそれぞれ履修すること。

・選択必修科目である残りの1科目2単位は、1年生夏学期に開講されるリレー講義形式の「南アジア地域基礎3」を履修することを推奨する。

・進級要件として必要な6単位を超えて、2年生以降に所属する専攻言語以外が開講する地域基礎科目を履修することも推奨する。（卒業要件に必要な単位に加えることができる。）

9. 中東

・「中東」で開講される3コマ・6単位をすべて履修する。

10. 中央アジア

・専攻言語（モンゴル語）の学生は、「中央アジア」で開講される授業のうち受講指定Mの付された3コマ・6単位（中央アジア地域基礎1、2、3）を履修する。

・専攻言語（ロシア語及びウズベク語）の学生は、「中央アジア」で開講される「中央アジア地域基礎4、5」（受講指定R（中央アジア）の付されたもの）2コマ・4単位を履修し、残り1コマ・2単位

は、「ロシア」地域で開講される「ロシア地域基礎1」（受講指定R（中央アジア）の付されたもの）
1コマ・2単位を履修する。

11. オセアニア

・「オセアニア」で開講されている地域基礎3コマ・6単位をすべて履修する。

12. アフリカ

・「アフリカ」で開講する地域基礎3コマ・6単位をすべて履修する。